



特55-642

密漢曆
畫曆

特55

642

大日本帝國年代記
全



始



Table of Japanese emperors from the 4th to 7th centuries, including names like 宣宗, 武烈, 繼體, and reign durations.

Table of Japanese emperors from the 7th to 10th centuries, including names like 孝德, 天智, 天武, and reign durations.

Table of Japanese emperors from the 10th to 12th centuries, including names like 醍醐, 宇多, 醍醐, and reign durations.

Table of Japanese emperors from the 12th to 14th centuries, including names like 白河, 堀河, 鳥羽, and reign durations.

Table of Japanese emperors from the 14th to 16th centuries, including names like 足利, 應永, 享徳, and reign durations.

Table of Japanese emperors from the 16th to 18th centuries, including names like 徳川, 寛文, 天明, and reign durations.

Main content table with multiple columns and rows of text, including various entries, dates, and names. The text is written in vertical columns, reading from right to left. Includes various characters and symbols.



Vertical text on the far right edge of the page, likely a page number or title.

甲 二月内理
乙 三月内理
丙 四月内理
丁 五月内理
戊 六月内理
己 七月内理
庚 八月内理
辛 九月内理
壬 十月内理
癸 十一月内理
甲 十二月内理

丁丑 七月御即位
後朱雀 立后
長曆 立后
壬 正月天皇
乙 崩御
丙 崩御
丁 崩御
戊 崩御
己 崩御
庚 崩御
辛 崩御
壬 崩御
癸 崩御
甲 崩御

丁 未 住吉社
三 十月平
乙 二月平
甲 二月平
丙 二月平
丁 二月平
戊 二月平
己 二月平
庚 二月平
辛 二月平
壬 二月平
癸 二月平
甲 二月平

丁 未 住吉社
三 十月平
乙 二月平
甲 二月平
丙 二月平
丁 二月平
戊 二月平
己 二月平
庚 二月平
辛 二月平
壬 二月平
癸 二月平
甲 二月平

丁 未 住吉社
三 十月平
乙 二月平
甲 二月平
丙 二月平
丁 二月平
戊 二月平
己 二月平
庚 二月平
辛 二月平
壬 二月平
癸 二月平
甲 二月平

丁 未 住吉社
三 十月平
乙 二月平
甲 二月平
丙 二月平
丁 二月平
戊 二月平
己 二月平
庚 二月平
辛 二月平
壬 二月平
癸 二月平
甲 二月平

Main grid of historical events and dates, organized by month and day. Includes various entries such as '壬辰 蒙古の使', '辛巳 蒙古の兵', and '壬午 時宗の死'. The grid is divided into columns representing different months and days of the month.

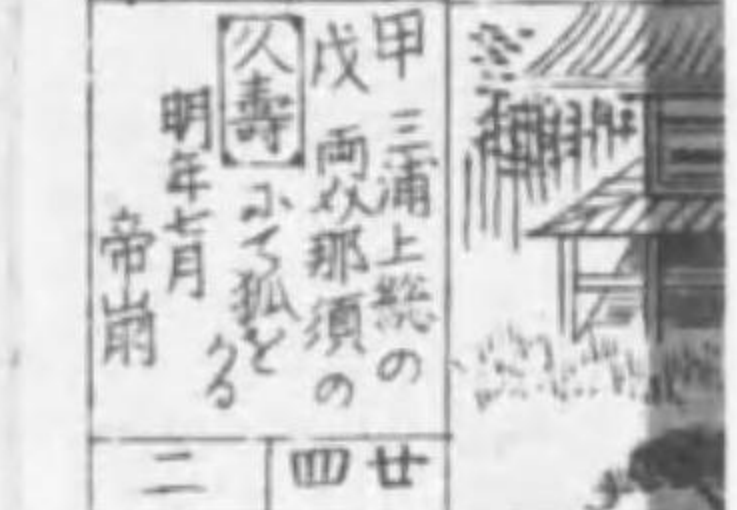


Table with columns representing years (e.g., 壬午, 癸卯) and rows representing various events and dates. Includes illustrations of a pagoda and a landscape. Text is in Japanese, detailing historical events and dates.

Main historical record table with columns for dates (e.g., 庚辰, 辛巳), events (e.g., 秀吉の死, 徳川家康の死), and figures (e.g., 徳川家康, 豊臣秀吉). Includes several illustrations of figures and scenes.

Vertical text on the far right edge, likely a page number or additional notes.

甲。朝鮮人 明和。琉球人 入。入。入。	乙。東照宮 丙。関東洪水 丁。関東川 戊。浅草観音 己。西御九 庚。帝讓位	丙。文谷金 丁。中御門前 戊。善光寺 己。鎌倉八幡 庚。江戶大火	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公
丙。三月小金 丁。始て討射 未。上院。僧 五。遍昭八百 五十年忌	丙。文谷金 丁。中御門前 戊。善光寺 己。鎌倉八幡 庚。江戶大火	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公
甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公	甲。家宣公 乙。家宣公 丙。家宣公 丁。家宣公 戊。家宣公 己。家宣公 庚。家宣公

Additional text and notes at the bottom of the page, including dates and specific event descriptions.

<p>甲 一朱銀通用 乙 去年大山 丙 成田山不動 丁 身の山 戊 江戸大火 己 洋銀一分 庚 富士山 辛 高尾山 壬 武州 癸 高尾山</p>	<p>甲 一朱銀通用 乙 去年大山 丙 成田山不動 丁 身の山 戊 江戸大火 己 洋銀一分 庚 富士山 辛 高尾山 壬 武州 癸 高尾山</p>	<p>甲 一朱銀通用 乙 去年大山 丙 成田山不動 丁 身の山 戊 江戸大火 己 洋銀一分 庚 富士山 辛 高尾山 壬 武州 癸 高尾山</p>	<p>甲 一朱銀通用 乙 去年大山 丙 成田山不動 丁 身の山 戊 江戸大火 己 洋銀一分 庚 富士山 辛 高尾山 壬 武州 癸 高尾山</p>	<p>甲 一朱銀通用 乙 去年大山 丙 成田山不動 丁 身の山 戊 江戸大火 己 洋銀一分 庚 富士山 辛 高尾山 壬 武州 癸 高尾山</p>	<p>甲 一朱銀通用 乙 去年大山 丙 成田山不動 丁 身の山 戊 江戸大火 己 洋銀一分 庚 富士山 辛 高尾山 壬 武州 癸 高尾山</p>	<p>甲 一朱銀通用 乙 去年大山 丙 成田山不動 丁 身の山 戊 江戸大火 己 洋銀一分 庚 富士山 辛 高尾山 壬 武州 癸 高尾山</p>	<p>甲 一朱銀通用 乙 去年大山 丙 成田山不動 丁 身の山 戊 江戸大火 己 洋銀一分 庚 富士山 辛 高尾山 壬 武州 癸 高尾山</p>	<p>甲 一朱銀通用 乙 去年大山 丙 成田山不動 丁 身の山 戊 江戸大火 己 洋銀一分 庚 富士山 辛 高尾山 壬 武州 癸 高尾山</p>	<p>甲 一朱銀通用 乙 去年大山 丙 成田山不動 丁 身の山 戊 江戸大火 己 洋銀一分 庚 富士山 辛 高尾山 壬 武州 癸 高尾山</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

日露戦争中の重要事項

○明治三十七年（光緒三十三年）

二月六日 外交断絶

二月八日 我聯合艦隊佐世保を出發す

二月十四日 宣戰の大詔煥發

二月二十四日 我驅逐艦の一隊旅順を攻撃す

三月六日 第一回旅順日閉塞

三月六日 旅順の砲撃

四月二十五日 ロフ戦死す

五月一日 新浦沖に金州丸撃沈せらる

五月三日 九連城の總攻撃

五月三日 第三回旅順口の閉塞

日露戦争中の重要事項

◎明治三十七年(光緒三十三年)
二月六日 外交断絶
我聯合艦隊佐世保を出發す
二月八日 旅順の夜襲レトウキザン外二艦に大傷を與ふ
第一軍の一部仁川に上陸す
二月九日 旅順港口の大海戦
仁川沖の海戦コレイツ、マリヤークを撃沈す
二月十日 我公使露都を去る

宣戰の大詔煥發
二月十四日 我驅逐艦の一隊旅順を攻撃す
二月二十四日 第一回旅順口閉塞
三月六日 浦鹽の砲撃
三月十日 我驅逐艦隊旅順港外に敵の驅逐艦隊と大海戦を爲し敵艦ステレクシチ一を撃沈す
三月二十七日 第二回旅順口の閉塞廣瀬中佐戦死す
四月十三日 旅順敵艦の出動ベトロバウロウスク
我沈没水雷に撞りて爆沈提督マカ

ロフ戦死す
四月二十五日 新浦沖に金州丸撃沈せらる
五月一日 九連城の總攻撃
五月三日 第三回旅順口の閉塞
五月五日 第二軍遼東半島に敵前上陸を行ふ
五月六日 普蘭店を占領し電信鐵道を破壊す
鳳凰城の占領
五月十四日 大密口掃海中宮古艦爆沈す
五月十五日 我海軍の大災禍、吉野、初瀨、八島の

三艦を喪ふ
五月十七日 驅逐艦曉敵の機械水雷に觸れ沈没す
五月十八日 砲艦大島倂艦と衝觸沈没す
五月二十六日 金州の占領、南山の大激戦、金州牛島の封閉宣言
五月二十七日 南關嶺を占領す
五月三十日 ダルニーを占領す
六月八日 龍巖を占領す
六月十五日 得利寺の大激戦

玄海に常陸、和泉丸撃沈せらる
六月二十一日 熊岳城を占領す
六月二十三日 旅順の敵艦南下を企つ我艦隊之を港外に壓迫す
六月二十七日 北分水嶺を占領す
七月一日 摩天嶺を占領す
七月五日 海門の遺難
七月二十日 浦鹽敵隊津輕海峡を通過し我東海沿岸を脅す
七月二十五日

大石橋の激戦
七月三十日 旅順攻圍軍は本日を以て敵を其本防禦線内に撃退す
七月三十一日 柵木城を占領す
八月一日 檜樹林子及榛子嶺の占領敵將ケルレル戦死す
八月三日 海城、牛莊を占領す
八月五日 旅順港外に我驅逐艦三隻敵の驅逐艦十四隻を走らす
八月七、八日 大孤山小孤山を占領す

八月十日 旅順沖の大海戦大に敵艦隊を撃破す
提督ウキツトゲフト戦死す
八月十四日 上村艦隊蔚山沖に浦鹽艦隊と會戦し敵艦リユリツクを撃沈す
八月十六日 山岡參謀總督を齎らし旅順の敵に勳降狀を與ふ
八月十九日 第一旅順總攻撃開始
八月二十日 我艦隊の一部敵の快速巡洋艦ノークキツクをコルサコフ港に撃沈す
八月二十二日 盤龍山砲臺を占領す

八月二十五日 遼陽の攻撃開始
九月三日 驅逐艦遠島の遺難
九月四日 遼陽の占領、重獲品頗る多し
九月十八日 平遠の遺難
九月十九日 第二回旅順總攻撃開始
九月二十日 クロバトキン砲臺、高崎山砲臺及水師營砲臺を占領す
十月十日 沙河の大會戦、敵の死傷約八萬
十月二十六日

第三回旅順總攻撃開始
十一月六日 砲艦愛宕直隸海峡に於て暗礁に觸れ沈没す
十一月廿六日 第四回旅順總攻撃開始
十一月三十日 二〇三高地を占領す
十二月十二日 巡洋艦高砂敵の機械水雷に觸れ沈没す
十二月十五日 我水雷艇艦旅順口外に敵艦セバストホリーを襲撃す
本日を以て旅順艦隊全滅す

十二月十八日 東鷄、山北砲臺を占領す
十二月廿八日 二龍山砲臺を占領す
十二月卅一日 松樹山砲臺を占領す
◎明治三十八年(光緒三十三年)
一月一日 旅順の守將ステツセル開城我に降る
一月三日 第三皇孫光宮宣仁親王御降臨
一月二十五日 黑溝寨附近の會戦
二月十九日 奉天附近の大會戦始まる

三月九日 撫順占領
三月十日 奉天の占領、敵の損害約十五萬、軍旗火砲を始め重獲品頗る多し
三月十三日 興京占領
三月十六日 鐵嶺占領
三月十九日 開原占領
三月二十一日 昌圖占領
四月三日より七日まで 靖國神社合祀祭典を擧げらる
四月廿二日

我一等戰艦鹿島は英國ニウカツスル造船所に於て進水式を舉行す、有栖川大將宮殿下及び妃殿下臨御遊ばさる
五月廿七、八日 日本海の大激戦、バルチック艦隊を全滅し提督ロヂエストウエンスキ一、ネボカトフ以下諸將を虜にす
六月 突戰の機を利用し軍事の秘密を漏したる佛人アグアン捕縛せられ、重懲役十年の宣告を受け、忽ちにして皇恩優渥の勅命に接し特典其身を赦さる
六月九日 米國より講和の照會來る

六月二十四日 沈没巡洋艦バヤーン(阿蘇)浮揚す
六月二十九日 戰艦ベレスウエーイト(相模)浮揚す
七月三日 小村外相、高平公使 媾和全權委員を命ぜらる
七月八日 小村外務大臣媾和全權大使として米國に向ふ
南樺太コルサコフを占領す
七月九日 我海軍の陸戰隊沿海州の沿岸に上陸す

七月二十四日 北樺太アレキサンドロフスキーを占領す
七月二十七日 ルイコフを占領す
八月八日 仁川港内に沈没し居たる巡洋艦ワリヤーク浮き揚る
八月十二日 巡洋艦バルラダ(津輕)浮揚す
八月二十二日 驅逐艦シールヌイ(支那)浮揚す
九月五日

起となり日比谷公園に全國々民大會を催す。
國民は慷慨悲憤のあまり同日及び六日の二夜に亘りて東京市内のあらゆる巡査派出所及び二三の警察署を破壊焼却す
九月七日 滿都大騷擾の爲め帝都へ戒嚴令を施行す
九月十二日 軍艦三笠火災を起し沈没す
九月二十二日 戰艦レトウキザン(肥前)浮揚す
九月二十六日

七月八日 小村外務大臣樞和全權大使として米國に向ふ
南樺太コルサコフを占領す
七月九日 我海軍の陸戦隊沿海州の沿岸に上陸す
七月二十一日 戦艦ホルタワ(丹後)浮揚す
八月十二日 ヤーグ浮揚す
八月二十二日 巡洋艦バルラダ(津輕)浮揚す
八月二十二日 驅逐艦シールヌイ(文月)浮揚す
九月五日 ポーツマス講和成立は國民をして激昂せしめ條約破毀の運動各地に起り、此日講和問題聯合同志會發
滿都大艦擡の爲め常都へ戒嚴令を施行す
九月十二日 軍艦三笠火災を起し沈没す
九月二十二日 戦艦レトウキザン(肥前)浮揚す
九月二十六日 日英同盟發表
九月二十八日

日英訂盟約款頒布す
十月七日 砲艦ガイダマック(歌波)浮揚す
十月十六日 平和の大詔煥發
小村全權歸朝す
十月十七日 戦艦ホーバーク(周防)浮揚す
十月十八日 東郷海軍大將伊勢大廟を参拜す
十月二十二日 東郷大將聯合艦隊を率ゐて東京灣に凱旋す
十月二十三日 東京灣に於て大觀艦式を御舉行あらせられ 陛下行幸
十月廿四日 東京市に於て東郷大將を歓迎す、同日東郷大將は青山墓地に甲魂祭を行ふ
十月三十一日 東京市に海兵歡迎會を開催す
十一月十一日 彼の東郷艦擡の結果河野廣中以下の五士兇徒嚙聚の罪名の下に收監せらる
十一月十七日 大元帥陛下伊勢大廟に行幸、親しく全捷の結果を奉告せらる
十一月廿九日 曩に施行しつゝありし東都の戒嚴令を解く
十二月十七日 滿州軍歡迎會は上野公園に開催せらる
十二月二十日 大本營解散
十二月二十六日 裝甲一等巡洋艦筑波は突に進水式を舉ぐ
◎明治三十九年(光緒三十四年)
一月一日 小村大使歸京す
一月四日 公爵九條道孝薨去
一月六日 内閣更迭、西園寺侯總理大臣に任じ

組織の人命下る
日清協約御批准あらせらる
一月二十二日 清國皇族載澤殿下御來朝
一月二十七日 中山一位局御生母愛子逝去
此頃東北地方、前年不作の爲め大饑饉
二月十九日 英國皇甥コンノート殿下御來朝
第二十二議會に於て鐵道國有を可決す
三月十七日 臺灣大地震、人畜死傷多し
三月三十日 久瀨宮鳩彦王殿下に朝香宮、北白川
宮恒久王殿下に竹田宮の稱號を賜はれり
四月一日 伊國皇族ウヰア殿下御來朝
四月九日 軍艦生駒、突に於て進水式を舉ぐ、東宮殿下臨御
四月六日 伊國ウヰアス山嶽發す
四月十九日 米國桑港大地震、人畜の死傷、家屋の損害多し
四月三十日 青山練兵場に於て陸軍大觀兵式御舉行あり 陛下行幸あらせらる
五月七日より五日間
靖國神社大勅祭
五月十一日 日米間版權條約發表せらる
五月十九日 銀貨改鑄を公布せらる
七月七日 英國支那艦隊はムーア中將司令長官となりて來朝す
七月十二日 日加條約批准交換せらる
七月十五日 戦利艦ノックキック浮揚す
七月二十三日 參謀總長陸軍大將子爵兒玉源太郎薨去す
七月三十日

陸軍大將奥保彥男參謀總長に任ず
八月七日 軍艦三笠浮揚る
八月八日 砲艦伏見、上海にて進水式を行ふ
八月 英國にて製造中の我軍艦鹿島、香取、横須賀へ入港す
九月五日 東京電車合併四錢均一 反對演説有當
日夜電車數臺破壊さる
九月十一日 東京三電車四錢均一となる
諸國豐作
九月二十五日 旅順口鎮守府條例及び之に關聯する港務部條例を公布せらる
十一月三日 裕彦王殿下に東久瀨宮の御稱號を下賜せらる
十一月五日 我邦と智利國間の通商航海條約公布せらる
十一月五日 驅逐艦神無月長崎に於て進水式を舉行す
十一月八日 歩兵操典を改正せらる
十一月十五日 戦艦薩摩橫須賀に於て進水を舉行す
十二月二十五日 陸下臨幸あらせらる
第二十三帝國議會召集さる
丁未明治四十年(光緒三十五年)
一月二十二日 選信省焼失す
一月三十一日 韓國東宮妃戴冠式を舉行す
二月四日 足尾銅山大騒動起る
二月十五日 東京廢兵院開始さる
二月二十二日 日本社會黨禁止命令を受く
此月日露戰爭の功に依り行賞を受く
韓國改元して隆熙と號す
八月七日 韓國英親王皇太子册立の勅語發布せらる
八月十五日 日露協約發表せらる 此日韓國新皇帝慶雲宮に遷宮の詔勅發せらる
北海道函館大火 慧星現はる、
八月二十六日 關東大洪水 諸國豐作
九月十八日 陸軍管區表及師團配備改正發布せらる
九月二十一日 日露戰爭の功に依り我文武官に授爵陞授せらるもの多し

るもの多し
三月七日 陸軍大將男爵立見尙文薨去す
三月二十日 東京勸業博覽會開館式を舉行す
三月二十八日 帝國議會閉會式舉行
四月十日 浦賀にて菊水進水式を舉行す
四月十五日 吳軍港にて安藝進水式を舉行す
四月十七日 救世軍總督ブリス大將入京し同三十日歸京す
五月二十四日 韓國新内閣政綱を發表す
五月二十七日 維新の際殉難の志士に贈位の御沙汰あり
六月五日 別子銅山の坑夫暴動を企つ
六月十三日 萬國平和會議豫備會開かる
六月十七日 日佛協約發表せらる
七月十九日 韓國皇帝讓位
七月二十五日 日露協約發表せらる
七月三十一日 東京勸業博覽會閉會式を舉行す
八月一日 佐世保に於て利根進水式を舉す
十月廿八日 陸軍二年兵役に關する勅令公布さる
十一月六日 大博覽會の敷地青山方面と決定す
十二月廿五日 第廿四帝國議會召集せらる
八月七 日露戰爭の功に依り我文武官に授爵陞授せらるもの多し

九月廿五日 英露協約發表せらる
九月三十日 陸軍召集令改正發表さる
十月一日 衆議院全員を勳四等に叙せらる
十月五日 中山一位局薨去せらる
十月廿八日 陸軍二年兵役に關する勅令公布さる
十一月六日 大博覽會の敷地青山方面と決定す
十二月廿五日 第廿四帝國議會召集せらる
三月五日 下總野田町大火全燒四百餘戸
三月八日 新潟市大火全燒一千五百餘戸
三月十五日 日清政府間紛議を醸せし辰丸事件解決す

三月二十八日 帝國議會閉會式舉行
 四月十日 浦賀にて菊水進水式を舉行す
 四月十五日 吳軍港にて安藝進水式を舉行す
 四月十七日 救世軍總督ブリス大將入京し同三十日歸京す
 五月二十四日 韓國新内閣政綱を發表す
 六月十三日 萬國平和會議豫備會開かる
 六月十七日 日佛協約發表せらる
 七月十九日 韓國皇帝讓位
 七月二十五日 日韓協約發表せらる
 七月三十一日 東京勸業博覽會閉會式を舉行す
 八月一日
 日露協約發表せらる此日韓國新皇帝慶雲宮に遷宮の詔勅發表せらる
 北海道函館大火 慧星現はる
 八月二十六日 關東大洪水 諸國豐作
 九月十八日 陸軍管區表及師團配備改正發布せらる
 九月二十一日 日露戰爭の功に依り我文武官に授爵陞授せらるゝもの多し

九月廿五日 英露協約發表せらる
 九月三十日 陸軍召集令改正發表さる
 十月一日 衆議院全員を勳四等に叙せらる
 十月五日 中山一位局薨去せらる
 十月十三日 皇太子殿下御渡韓あらせらる
 十月廿一日 横須賀に於て鞍馬進水式を舉行す
 十月廿三日 皇太子殿下佐世保に御着艦あらせらる
 十月廿四日
 佐世保に於て利根進水式を擧す
 十月廿八日 陸軍二年兵役に關する勅令公布さる
 十一月六日 大博覽會の敷地青山方面と決定す
 十二月廿五日 第廿四帝國議會召集せらる
戊申明治四十一年(光緒卅六年)
 一月二十四日 一條松壽院薨去す
 二月一日 葡萄牙國王ならびに皇太子暗殺せらる
 三月十七日 東京淺草公園地大火二百數十戸焼失
 三月五日 下總野田町大火全焼四百餘戸
 三月八日 新潟市大火全焼一千五百餘戸
 三月十五日 日清政府間紛議を醸せし辰丸事件解決す
 三月十六日 増税に關する諸法律發表さる
 三月廿五日 男爵岩崎彌之助氏薨去す
 三月廿七日 第廿四帝國議會閉院式を行ふ
 三月卅一日 國庫債券償還規程發表さる

四月三日 有栖川宮親仁王殿下薨去せらる
 四月九日 東京地方八日よりの降雪止まず積むこと六七寸交通機關の損害夥多し
 四月三十日 常宮殿下。皆田宮殿下大婚成らせらる
 四月三十日 軍艦松島馬公港碇泊中火薬庫爆發沈没す
 五月二日 山階宮菊麿王殿下薨去す
 五月五日 日米新條約締結す
 五月十五日 衆議院議員總選舉を行ふ
 七月十四日 桂内閣成る
 七月三十一日 日蘭領事職務條約成る
 八月六日 日米商標條約批准交換を了す
 九月四日 新潟市大火
 九月十日 大博覽會を明治五十年迄延期すべき勅令出づ
 九月十二日 皇太子殿下東北地方御見學の爲御旅行
 九月十八日 皇室祭祀令公布せらる
 十月一日 新刑法實施せらる諸國豐作
巳酉明治四十二年(光緒卅七年)
 七月二日 横濱開港五十年祭を催す
 七月卅一日 大阪市空心町より出火焼失戸數一萬二千餘戸
 八月一日 新潟市大火焼失戸數五百餘戸
 八月一日 韓太子東北御見學御出發
 八月十四日 關西北陸大地震 近江美濃多數慘狀を極む
 九月十五日 東京北陸御見學御出發 全國大豐作

全國大豐作

全國大豐作

全國大豐作

259
670

明治四十二年九月廿五日印刷
明治四十二年十月四日發行

編輯者 林甲子太郎
東京市淺草區須賀町十八番地

印刷者 遠藤銓吉
東京市京橋區岡崎町二丁目廿五番地

發行所 盛林堂
東京市淺草區須賀町十八番地

賣捌所 全國各書肆

終